

R8年度 原子力工学応用実験

原子力工学に関する応用実験として、複合原子力科学研究所の電子リニアック等の加速器、ホットラボ、日本原子力研究開発機構JRR-3の施設・装置を用いて、中性子・ガンマ線線量弁別評価、アクチノイドのミルキング実験、中性子核反応実験・原子炉反応度測定実験、中性子光学実験、から課題を選択し、実施する。

実施期間(予定):2026年10月19日～10月23日(又は11月16日～11月20日)

実験ガイダンス:2026年4月20日(4限:15:00より桂キャンパスC3棟講義室5)

テーマ	担当教員
中性子場の線量測定(n/ γ 弁別評価)	高田卓志, 櫻井良憲, 田中浩基
標的治療の基礎となるアクチノイドのミルキングと錯形成の実験	山村朝雄
中性子飛行時間分析法(中性子核反応実験)及び原子炉反応度測定	堀順一, 山本俊弘, 寺田和司
中性子光学実験(JRR-3)	日野正裕, 樋口嵩

R8年度原子力工学応用実験 実施の流れ

4月20日(4限 15:00より): 実験ガイダンス実施



放射線従事者登録の手続き開始



5月: KULASISの資料を自習し課題選択(班分け)

10月～12月の5日間: 実験実施予定

(複合原子力科学研究所及びJRR-3で行う予定)

- 実験にはガラスバッジ(中性子に対応しているものが望ましい)が必要なため、**放射線業務従事者登録**をしておくこと
- 従事者登録、ガラスバッジ取得が困難な場合は相談に応じます。
- 実験の約1か月前までにオンライン等で保安教育を受講
- 実施期間中は、実験場所の市町村まで通学又は近隣ホテルやドミトリーに宿泊。実験日数(2～3日)や宿泊日数は課題ごとに異なる。旅費は支給。
- KULASISに登録されているメールアドレスに連絡しますので、随時メールを確認のこと。